

第 690 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「蔵春閣 大蔵喜八郎からの贈り物」

<放送日時>5月27日 土曜日 16:00~16:54 放送

令和5年9月27日

**BSN**新潟放送

## 第 690 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 5 年 9 月 27 日（水）午前 11：00～

2. 開催場所 6 F 会議室

### 3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長	古賀 豊	副委員長	佐藤 元
委員	石坂 智恵美	委員	三井田 由香
委員	大橋 未来子	委員	佐野 哲郎
委員	馬場 幸夫		

○審議番組事前レポート提出者

委員	馬場 省吾	委員	渡邊 信子
----	-------	----	-------

○放送事業者側出席者

社長	島田 好久	常務取締役	五十嵐 幹史
編成局長	井上 智美		

<説明員> テレビ制作部ディレクター 小林 和貴

事務局 金山 英功（編成局テレビ編成部部長）

### 4. 議題

1 報告事項 令和 5 年 10 月の番組について（各担当）

2 審議事項

- ・「新潟放送番組基準改正」について
- ・「蔵春閣 大蔵喜八郎からの贈り物」

5 月 27 日土曜日 16：00～16：54（放送）について

### 5. 議事の概要

島田社長のあいさつの後、事務局長から民放連の放送基準改正に伴う新潟放送番組基準改正についての諮問がなされた。「民放連放送基準」の概要と改正の経緯、および「新潟放送番組基準」で準用を予定している

「民放連放送基準」改正の内容について説明がなされた。

番組審議会で審議した結果、諮問通り承認され当社に答申された。

その後、事務局長からの10月度番組報告に続いて、テレビ番組「蔵春閣 大蔵喜八郎からの贈り物」について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

○贅の限りを尽くした蔵春閣を見たいと思った。

○建物（蔵春閣）と人物（大蔵喜八郎）を両方紹介する番組であったが、構造・組み立て方がわかりやすく紹介されており、また大蔵喜八郎をもっと知りたいと思わせる内容だった。

○郷土の偉人を紹介する番組を多く作ってほしい。

○近藤アナのナレーション、BGMがとても効果的だった。

○祝賀会～市長インタビューまでは違和感を感じた。

○移築に携わった大工の方々・子孫・市長・市民・・・多くの方の声が番組を深いものになっている。

○110年で移築が3回。それぞれの地で蔵春閣が見てきた歴史を辿れたら、もっと番組の幅が出たのでは。

○大蔵喜八郎の生い立ちや事業家としての先見性の紹介は興味深かった。  
戊辰戦争で命を拾ったことが前向きさや情熱を増幅させたのだろう。

○移築にあたり、職人さんたちが当時のままと再現する為に変な努力をし、その技を結集している姿に感銘を受けた。

～新潟放送 テレビ制作部ディレクター 小林和貴より～

ご多忙のところ、番組を丁寧にご審議いただき誠にありがとうございました。編集では建築の専門的な事柄をいかに分かり易く伝え、建物や人の魅力につなげられるか意識しました。図解やイラストが分かり易く技術の粋を集めた建物を見に行きたくなった、喜八郎についてもっと知りたくなる、などのご感想をいただき、本当に嬉しく思います。また、建物を視点に時代の変遷や人々について描いても面白いのでは…といった目から鱗が落ちるご意見もたくさんいただきました。この経験を糧に、より分かり易くて面白い番組作りを目指して、精進してまいります。

【文責・番組審議会事務局】